

平成27年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための  
「つなぐ教育」推進事業の推進地域の取組

拠点校名	本宮市立本宮第一中学校
推進協力校名	本宮市立本宮小学校 本宮市立本宮まゆみ小学校

**本宮第一中学校区の「よさ」や「強み」を活かす取組  
～現状肯定からの連携を通して～**

本校区は、本宮市の中心部に位置している。以前は小学校1校、中学校1校であったが、本宮小学校の学区を2つに分け、新たに本宮まゆみ小学校を新設した。そのため、従来から、学校同士、保護者同士、学校と地域のつながりは比較的強い方である。

本宮市では、ボランティア活動を推進しており、市の生涯学習センターや社会福祉協議会が積極的に活動を推進している。本宮市教育委員会では、幼保小中連携による学力向上を推進している。地域も学校の諸活動に対して関心があり、協力的である。

こうした現状を踏まえ、本事業を通して、児童・生徒に夢を持たせ、よりよい学習習慣と生活習慣を確立し、確かな学力を育み、夢の実現に向けた力を身に付けさせたいと考える。



〈研学の道〉

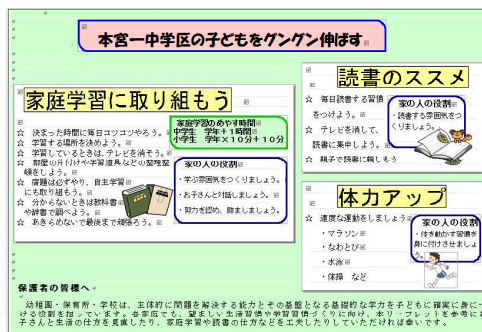
**取組の主な内容**

**1 学校同士の連携の強化**

- ① 事業推進地域の学校ネットワーク作り
  - 小・中学校合同での授業研究会(各小・中学校で2回ずつ実施)
  - 幼保小中連携研修会(本宮まゆみ小学校の授業公開、講演会の実施)
    - [講師]福島学院大学 非常勤講師 添田和子 先生
    - [演題]「幼保小中連携の取組について考える」
  - ALTの各小学校・保育所訪問(各小学校月4日間、保育所月1日間実施)
- ② 小学校から中学校へのスムーズな連携強化
  - 小学生の中学校訪問
  - 中学教師による小学校への出前授業

**2 学校と家庭の連携の強化**

- ① 小中学校で連携した学習習慣と生活習慣作り
  - 「本宮スタイル」の作成と教員・保護者への配付と活用



- ② 家庭への情報発信と保護者が学ぶ機会の確保
  - 授業の公開
  - 学校だより「研学の道」の定期的な発行
  - PTA教養委員会主催の親子講演会
    - [講師]三春中学校 栄養教諭 土屋久美 先生
    - [演題]「望ましい食習慣を身につけよう」

### 3 学校と地域の連携の強化

- ① 地域人材の授業への活用
  - 市学習支援ボランティアによる学習支援
    - ・箏の体験, ギターの体験(2・3年の音楽の授業)
  - 市福祉協議会の協力による学習支援
    - ・福祉体験活動  
(3年の総合的な学習の時間)
    - ・老人介護施設や授産施設での手伝い  
(中学校の特別支援学級の作業の授業)
- ② 地域理解とキャリア教育の推進
  - 地域施設・地域人材を活用
    - ・郷土理解学習(1年の総合的な学習の時間)
  - 地域事業所における職場体験
    - ・職場体験学習(2年の総合的な学習の時間)
- ③ 学校行事と地域行事の融合
  - 地域祭礼での山車運行  
(中学校の「研学祭」(文化祭))



〈箏の体験活動〉



〈祭礼での山車運行〉

## 成果と課題

### 1 成果

- ① 学校同士の連携の強化について
  - 教職員は、小・中学生の実態、学習環境、校種別の指導方法の特色などを理解しその上に立った指導を心がけるようになった。児童・生徒は、落ち着いた雰囲気での授業を受けており、今後、学力向上が期待できる。
- ② 学校と家庭との連携の強化について
  - 学校評価から、保護者の学校への理解が深まり、保護者から学校に対して好意的な声が多く聞かれるようになった。
- ③ 学校と地域の連携の強化について
  - 各小・中学校の総合的な学習の時間や各教科、中学校の特別支援学級の活動において、市の生涯学習センターや社会福祉協議会と連携し、地域との関わりの中で充実した活動となった。
  - 中学校の文化祭において、地域祭礼との関わりの中で行い、生徒は生き生きと活動し、地域の方々も関心をもって見守っていた。
  - 中学校において、夏体験ボランティアや雪かきボランティアに多くの生徒が自発的に参加した。

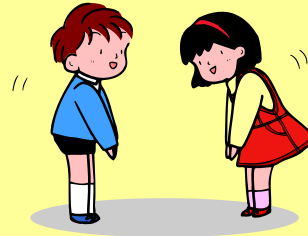
### 2 課題

- ① 学校同士の連携の強化について
  - 小・中学校の授業研究において、校内のテーマに加え、小中連携の視点から協議する時間の設定も必要である。来年度は、教師側の小中一貫の共通実践の取組として、「めあて」と「まとめ」のある板書作りを考えている。
- ② 学校と家庭との連携の強化について
  - 小学校と中学校がそれぞれに進められる部分が多く、小中連携の9年間を見通し、系統性・継続性のある家庭へのアプローチも必要である。その際、学校側の一方通行にならないためにも、各小中学校のPTAの代表者の意見も取り入れることも必要である。
- ③ 学校と地域との連携の強化について
  - 授業における地域資源活用の視点から、各小中学校の教職員に対して、具体的な活用や手続きの方法について周知する必要がある。
- ④ 総合的な連携の強化について
  - 中学校においては、生徒が中学校入学までに小学校、家庭、地域で育成された力をよく理解し、それらを踏まえた上での指導が必要である。

# 本宮一中学区 生活の本宮スタイル

掲示用

## あいさつ



### ◎あいさつのポイント

「いつも 変わらず 誰にでも」

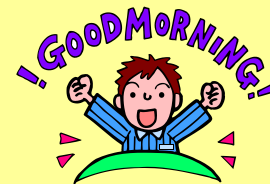
### 実践

#### ○ 家族へのあいさつ

- ・おはようございます
- ・おやすみなさい
- ・いってきます
- ・ただいま
- ・いただきます
- ・ごちそうさま
- ・「はい」という返事
- ・ありがとう
- ・ごめんなさい

#### ○ あいさつ運動

- ・広報による呼びかけ（5月・9月・1月）
- ・児童会、生徒会等による活動
- ・お便り等での保護者への呼びかけ



## 生活のリズム

### ◎生活リズムの確立

「早寝 早起き 朝ごはん」

### 実践

#### ○年齢に合わせた就寝時刻、睡眠時間

- ・幼稚園保育所 午後8時～ 9時
- ・小学生 午後9時～10時
- ・中学生 6時間～8時間の睡眠時間

#### ○自分で起きる習慣

- ・決めた時刻に起きる

#### ○毎日朝食を食べる習慣

- ・和食も取り入れてバランスよく食べる

#### ○情報メディアとのかかわり

- ・テレビやゲーム、携帯電話、パソコンを使うときはルールを決める



# 本宮一中学区の子どもをグングン伸ばす

## 家庭学習に取り組もう

- ☆ 決まった時間に毎日コツコツやろう。
- ☆ 学習する場所を決めよう。
- ☆ 学習しているときは、テレビを消そう。
- ☆ 部屋の片付けや学習道具などの整理整頓をしよう。
- ☆ 宿題は必ずやり、自主学習にも取り組もう。
- ☆ 分からないときは教科書や辞書で調べよう。
- ☆ あきらめないで最後まで頑張ろう。



### 家庭学習のめやす時間

中学生 学年+1時間  
小学生 学年×10分+10分

### 家の人の役割

- ・学ぶ雰囲気をつくりましょう。
- ・お子さんと対話しましょう。
- ・努力を認め、励ましましょう。

## 保護者の皆様へ

幼稚園・保育所・学校は、主体的に問題を解決する能力とその基盤となる基礎的な学力を子どもに確実に身につける役割を担っています。各家庭でも、望ましい生活習慣や学習習慣づくりに向け、本リーフレットを参考にお子さんと生活の仕方を見直したり、家庭学習や読書の仕方などを工夫したりしていただければ幸いです。

## 読書のススメ

- ☆ 毎日読書する習慣をつけよう。
- ☆ テレビを消して、読書に集中しよう。
- ☆ 親子で読書に親しもう

### 家の人の役割

- ・読書する雰囲気をつくりましょう。



## 体力アップ

- ☆ 適度な運動をしましょう
  - ・マラソン
  - ・なわとび
  - ・水泳
  - ・体操 など

### 家の人の役割

- ・体を動かす習慣を身に付けさせましょう。

